

ICT活用授業実践報告書

【 H24年度3年目研修 】

実施学年	1年	実施教科 (科目)	社会科	実施日	H24.11.29
単元名	古代国家の歩みと東アジア世界				
本時の内容 (項目)	摂関政治と文化の国風化				
本時の目標	小右記に書かれている「藤原道長の栄華」の代表的な歌を読み、藤原道長の権力が強大になっていった理由を、複数の資料を参考に考えることができる。				
授業場所	1年4組教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習		
ICT活用場面	導入・まとめ		ICTの主な 活用者	教師	
活用するICT 機器	電子黒板				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	導入で電子黒板に藤原道長の栄華を表した代表的な歌を写し、読んだ感想を発表させ、生徒の言葉によって課題化を図る。また、まとめの段階では家系図の資料の中に共通する事実を、色を変えてわかりやすく提示することで、藤原氏の行った摂関政治の内容を視覚的に理解できると考える。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	なし				
利用するコン テンツ名・サ イト等	なし				
参考にしたサ イト・文献 等	なし				
事前の準備	電子黒板を準備する。 電子黒板に掲示する資料を作製する。				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<p>1. 「小右記」藤原道長の栄華を提示し、感想を発表する。 2. 生徒の感想を参考に生徒の言葉で課題化を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">藤原道長は、なぜこのような歌が読めたのだろうか。</div> <p>3. 資料追究を行い、発表する。 資料1 「小右記」 資料2 「皇室と藤原氏の関係」（家系図） 資料3 藤原氏による他氏排斥の動き</p> <p>4. 深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自らの娘を天皇の妃にすることの良さはなに？</div> <p>資料3 「公卿に占める藤原氏の割合」</p> <p>5. まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">藤原氏は自らの娘を天皇の妃にする摂関政治を行うことで、政治の実権を握ったのだな。だから、藤原氏の栄華を示すような歌をうたうことができたのだな。</div>	<p>電子黒板に藤原道長の歌を提示し、課題化を図る。</p> <p>電子黒板で、何人の藤原氏の娘が天皇の妃になっているのかを示す。</p>
<p>ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<p>電子黒板の配置の配慮を行い、すべての生徒が電子黒板を参考に授業を受けられるようにする。藤原氏の歌を見やすく、ドラマチックに提示する。ただ読むだけでは教科書を読んだ方がわかりやすい。生徒の興味関心を惹く導入を図る。まとめの段階の家系図の提示では、余分な情報は省く。資料内容の厳選を行い提示することで、色を変えて共通点を提示する効果がより一層高まると考える。</p>	
<p>ICT を活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<p>生徒の電子黒板に対する反応は大きく、導入時での電子黒板の活用は成功だったと言える。全ての生徒が真剣な眼差しで電子黒板を見詰めていたり、電子黒板の活用後の挙手発言の際には多くの生徒の手が挙がった。生徒は電子黒板に興味をもち、普段の資料提示の時よりも顔が上がって授業に集中する姿勢が見られた。</p>	
<p>ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>導入・まとめの時点で電子黒板を使用した際には、生徒の集中力は上がり電子黒板を全員の生徒が見ながら話を聞いていた。特に導入時では感想を発表する際には多くの挙手があり、電子黒板内の資料を随時確認をしていくことで課題化が無理のない流れのなかで行うことができた。電子黒板を使用して導入を行ったことで生徒の興味・関心は十分に喚起でき、まとめでは知識の定着を行うことができた。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>生徒自身に電子黒板に意見を書き込む機会を提供したり、動画を提示したりすることでさらなる興味・関心の喚起に務めたい。電子黒板の操作を教師側が把握しておかないと、操作に手間がかかり授業時間が減少してしまう。生徒の集中力を途切れさせないためにも、確実に使用できる技術と知識が必要になると感じた。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。